

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道8号 <small>にゅうぜんくろべ</small> 入善黒部バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：富山県 <small>しもにいかわ</small> 下新川郡入善町 <small>にゅうぜん</small> 櫛山 <small>くぬぎやま</small> 至：富山県 <small>うおづ</small> 魚津市 <small>えぐち</small> 江口			延長	16.1km
事業概要					
国道8号入善黒部バイパスは、「交通渋滞の緩和」、「広域幹線ネットワーク充実強化」などを目的とした、延長16.1kmの4車線のバイパス事業である。					
H2年度事業化	H2年度都市計画決定	H5年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	約862億円	事業進捗率	75%	供用済延長	14.0km（暫定2車線）
計画交通量	18,500 ～ 33,300 台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 313/996 億円 (事業費：220/891億円) (維持管理費：93/105億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 838/1,107 億円 (走行時間短縮便益：676/922億円) (走行経費減少便益：126/146億円) (交通事故減少便益：36/38億円)	基準年 平成24年度	
感度分析の結果					
事業全体・残事業について感度分析を実施					
(事業全体) 交通量：B/C=1.0～1.2（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=2.5～3.1（交通量±10%）					
事業費：B/C=1.1～1.1（事業費±10%） 事業費：B/C=2.5～2.8（事業費±10%）					
事業期間：B/C=1.0～1.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.5～2.8（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>①北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県東部地域唯一の新幹線新駅である黒部宇奈月温泉駅へのアクセス性の向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>②国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入善町や黒部市の工業施設から伏木富山港へのアクセス性の向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>③日常生活圏の各市町村間の連携を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏内の各市町村間のアクセス性が向上（黒部市役所、魚津市役所、入善町役場）。</li> </ul> </li> <li>④主要な観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要観光地へのアクセス性や回遊性の向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑤救急医療施設への命の道としてのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療施設（黒部市民病院）への搬送時間が短縮し、救命率の向上に寄与することが期待される。</li> </ul> </li> <li>⑥緊急輸送道路としての役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号の緊急輸送道路としての信頼性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑦騒音の低減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号の騒音が低下し、沿道環境の改善が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑧周辺企業等のアクセス利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間周辺の産業拠点へのアクセス性が向上し、物流効率化及び文化活動の支援が期待される。</li> </ul> </li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
地域から頂いた主な意見等					
魚津市などの3市2町の首長で構成される朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会等より整備の要望を受けている。					
知事からの意見					
事業継続に同意する。 今後ともコスト縮減に努め、早期の事業効果発現に格段の配慮を願いたい。					
事業評価監視委員会の意見					
審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。					
事業採択より再評価実施までの周辺環境変化等					
平成17年 4月 北陸自動車道入善スマートIC供用					
平成20年 3月 国道8号魚津滑川バイパス（魚津市住吉～出）が完成4車線で供用					
平成22年12月 国道8号滑川富山バイパスが全線完成4車線で供用					

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成2年度事業化、用地進捗率98%、事業進捗率75%（平成27年3月末時点）

平成13年度～平成26年度：入善町上野<sup>にゅうぜんまちのうえの</sup>～魚津市江口<sup>うおづしえぐち</sup> 延長14.0km（2/4）部分開通

残事業の内容：全線の工事（改良工、橋梁工、舗装工事）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

バイパス区間は平成26年度迄に全線暫定2車線供用を行っているところである。今後は、ボトルネックとなる現道拡幅区間の4車線化の推進を図り、残る事業については、交通状況を勘案し、関係機関と調整を図りながら行う。

施設の構造や工法の変更等

施工に当たっては、新技術の積極的な活用、建設発生土の有効活用により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※1 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※2 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。